



2020年度事業計画

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

人びとの夢も、地球の夢も
～関わりあって、豊かな暮らし、生き方を～

特定非営利活動法人
近畿環境市民活動相互支援センター
(略称：NPO法人エコネット近畿)

もくじ

ビジョン・基本方針	2
年間スケジュール	3
1.つながる場のデザイン	4
・1-1 エコネット近畿情報交流会の開催	
・1-2 助成財団サミットの開催	
2.団体・人材育成	6
・2-1 NPOのための資金調達まるわかりセミナー（助成金セミナー）の開催	
3.情報の発信	7
・3-1 ホームページ、メールニュース、SNSによる情報発信・公開	
・3-2 各展示会への出展	
4.コンサルティング・コーディネート	8
・4-1 個別相談業務	
・4-2 CSR・地域課題解決のコーディネート	
・4-3 助成財団等の助成金業務相談・協力	
・4-4 企業・行政との連携強化	
5.統一テーマ活動	9
・5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動	
6.委託事業	9
・6-1 行政等の事業の受託	
7.新規事業	10
・7-1 「コーディネーターファーム」（育成）	
・7-2 「コーディネーターファーム」（マッチング）	
・7-3 「コーディネーターファーム」（サポート）	
運営体制	11
会員目標	12

2020年度
ビジョン・基本方針
〔3ヵ年計画1年目〕
2020/4/1～2021/3/31

新ビジョン

人びとの夢も、地球の夢も ～関わりあって、豊かな暮らし、生き方を～

私たちがめざすのは、人びとが夢をつむぎ、実現できる社会。でも、それは他の生き物の暮らしを脅かし、地球の資源量を超えたものであってはなりません。様々な人や地域と関わり合うことで、豊かな暮らしとは何かを考え、自らの生き方へとつながっていくことをめざします。

私たちがめざす、3年後の社会の姿（3年後のビジョン）

- ・協力社会をめざした人が緩やかにつながる社会
- ・持続可能な地域のために、頑張りたい人が頑張れる社会
- ・社会課題を自分ごととしてとらえ、参画している人が増えている社会

新ビジョンに向けて、私たちは3年後に、上記のような社会を築いていきます。協力社会をめざしてすでに動いている人たちがつながり、頑張りたいと立ち上がった人たちが前に進んでいける社会。そして、社会課題に参画している人が増えている社会。

様々な段階で社会や地域に関わる人が増え、かかわりを継続していける環境が整うことで、いつか新ビジョンのような社会になってほしい、3年後のビジョンはその第一歩です。

基本方針

2020年度は世界的な新型コロナウイルス感染拡大という、未曾有の出来事と日本における緊急事態宣言の発令の対応から始まりました。2019年度に約半年をかけて、ビジョン委員会で議論し、作られた3ヵ年計画でしたが、このことにより事業内容や手法を大きく変更することを余儀なくされました。また、資金調達的面においても、3ヵ年計画で策定したよりも更に多様な収入源と安定的な財源確保が必要な事態となっています。

団体としては、非常に苦しい状況にあります。だからこそ新ビジョンや3年後のビジョンをめざし、今までの延長上ではなく、強みである人的資源、ネットワーク、情報を活かして、大きく飛躍をする年にしていきたいと考えています。

基幹事業である助成金セミナーはオンラインを活用し、昨年度に引き続き姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働しながら、規模の拡大を図ります。情報交流会は実行委員と意見交換をしながら、今までの良さを活かした開催の手法を模索します。更に2つの基幹事業とは別に、今後エコネット近畿の軸となる新規事業「コーディネーターファーム」（仮称）を開始し、持続可能な地域のために頑張る人の育成やサポートを行います。また、助成サミットと中間支援連携では、全国の環境活動の助成財団の交流の場や全国の分野横断での市民社会の交流の場を開催・運営することで、近畿を中心としながらも、全国規模でのネットワークや情報を持つ団体へと成長していきます。

財政面では、事業毎に収入を得ると共にエコネット近畿の得意分野やビジョンに合う事業を受託します。また、来年度以降に向けて寄付や助成金獲得、協賛企業開拓にも取り組みます。

組織面では、昨年度2月に立ち上げた若手理事が集まるプロジェクトチームで事業企画を練ると共に、来年以降の役員改選に向けた組織体制について検討します。職員は事業の拡大等に応じて増員を行い、研修やOJTを充実することで、職員一人ひとりのスキルアップを図ります。今年度は特に新型コロナウイルスの影響により、学業や渡航に支障が出ている大学生や留学希望者、青年海外協力隊員等を、インターシップやアルバイトとして積極的に受入れ、活力のある若者に学びの場を提供し、若い人の意見を積極的に取り入れます。

2020年度エコネット近畿 年間スケジュール

テーマ	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. つながる場のデザイン	1-1. 第16回エコネット近畿情報交流会の開催				交流会検討	実行委員会							●26日(金)27日(土)
	1-2. 助成サミットの開催						●					●	●
	1-3. 中間支援連携(全国市民連携環境ミーティングの構築)		●	●			●					●	●
2. 団体・人材育成	2-1. 第16回NPOのための資金調達まるわかりセミナー(助成金セミナー)の開催							●4日(日)					
	3-1. ホームページ、メールニュース、SNSによる情報発信・公開												
3. 情報の発信	3-2. 各展示会への出展(北区フェスティバル、ESDフォーラムがあれば参加)												
	4-1. 個別相談業務												
4. コンサルティング・コーディネートネットワーク	5-1. 河川流域自然環境再生支援/クリーンアップ活動												
	6-1. 行政等の事業の受託												
7. 新規事業	7-1. コーディネーターファーム(育成)												
	7-2. コーディネーターファーム(マッチング)												
	7-3. コーディネーターファーム(サポート)												
運営	1. 総会						●7日						
	2. 理事会		●初旬				●中旬	●中下旬	●下旬			●中下旬	
	3. 会員												
	4. 寄付金・協賛金集め												

1.つながる場のデザイン

ニーズ・シーズに合ったつながる場をデザインする



1-1 第16回エコネット近畿情報交流会の開催

- 目的 ①参加者のネットワーク構築による課題解決・スキルアップの場の提供
②実行委員のスキルアップ、自己実現の場の提供
③交流会後のヒアリングやフォローアップによる、つながる場の意義の確認と発信

地域の環境課題に取り組む活動団体、個人が、分野、立場、世代を超えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、活動を話し合い、語り合い、学び合う場を提供します。参加型の交流会を通して、参加者はネットワークを広げ、それぞれの活動や地域の課題解決のヒントを得ます。

交流会の運営にあたっては、会員、非会員で構成された実行委員を集め、議論の場を作り、事務的支援することで、環境課題に取り組んでいる個々の実行委員が感じるニーズや、持っているシーズを活かしたつながる場の構築をめざします。実行委員の選定には、男女比や分野、セクター、世代にも配慮し、多様な人達が運営に関われるようにします。

また、エコネット近畿が中心となり、参加者や実行委員の事後ヒアリングや個別相談等のフォローアップを行い、つながる場の意義の確認・発信を試みます。これによりつながる場である交流会を、必要としている人に伝えると共に、より実際の活動や地域の課題解決の場になるように後押しします。

【実施日時】2021年2月26日（金）、27日（土） 1泊2日（予定）

【実施場所】ユニトピアささやま（兵庫県丹波篠山市）

【対象者】農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業、行政等の担当者、大学等の研究者、学生

【目標】参加者数 ※コロナウィルス感染拡大の観点から、現在検討中

【参加費】一般12,000円、会員11,000円、学生8,000円（予定）

【内容】①事例紹介・全員ディスカッション

②活動紹介（参加団体/募集）

③情報交換・交流会、分科会

④ポスターセッション

⑤早朝オプションプログラム、ふりかえり

【主催】NPO法人エコネット近畿 / 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【共催】公益社団法人大阪自然環境保全協会

【企画運営】ささやまミーティング実行委員会 2021

【後援】きんぎ環境館、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県、

関西SDGsプラットフォーム、近畿地方ESD推進センター

【協力】パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニトピアささやま

各地域の中間支援組織

【収入】1,508,874円（セブン-イレブン記念財団助成金、参加費、他）

【支出】1,409,224円（諸謝金、会議費、旅費交通費、消耗品費、広告費、賃借料、他）

【収支差額】 99,650円

1.つながる場のデザイン



ニーズ・シーズに合ったつながる場をデザインする

1-2 助成サミットの開催

- 目的 ①助成財団同士の情報交流の場の提供
②助成財団とのネットワーク強化

助成財団の助成金制度の運営時の課題解決やネットワーク構築を通し、より環境活動が促進されることを目的として、助成財団が情報交流する場をオンラインで提供します。

助成財団とのネットワークを強化し、財団と共に環境活動が促進される助成制度の在り方、中間支援組織の協力、サポートの仕方を議論することで、より活動団体の活動促進につながるよう支援します。この事業は2-1「NPOのための資金調達まるわかりセミナー（助成金セミナー）」とリンクさせて行うことで、両事業の相乗効果を図ります。

また、姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働しながら、企画、運営を行います。

【実施日時】 2020年8月、11月、2021年1月、3月

【実施場所】 オンライン上

【対象者】 環境活動支援に取り組む助成財団

【目標】 各回18団体

【内容】 助成財団の制度発表、課題の発表、全体ディスカッション

【主催】 NPO法人エコネット近畿/NPO法人北海道市民環境ネットワーク/
NPO法人地域の未来・志援センター

【収入】 572,937円（参加費、他）

【支出】 449,937円（通信運搬費、旅費交通費、消耗品費、広告費、賃借料、他）

【収支差額】 123,000円



1-3 中間支援連携（全国市民連携環境ミーティングの構築）

- 目的 ①全国の分野横断型のネットワークの構築により、市民社会を強化する
②様々な分野の団体に、ベースとなる環境の重要性を認識してもらう

オンラインを活用し、全国の様々な市民団体の意見交流の場を設けます。今年度は準備会として、全国の多様な団体との話し合いをしながら、分野横断型のネットワークの必要性やその機能、有り方について検討します。

姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働しながら、企画・運営を行います。

【実施日時】 2020年5月、6月、8月、10月、2021年1月、3月

【実施場所】 オンライン上

【対象者】 様々な分野の中間支援組織、ネットワーク組織

【内容】 持続可能な社会を作る市民社会の在り方や、ネットワークについて学び、議論する

【収入】 458,937円（参加費、他）

【支出】 418,937円（賃借料、水道光熱費、他）

【収支差額】 40,000円



環境NPOや運営スタッフの運営力向上を支援する

2-1 第16回NPOのための資金調達まるわかりセミナー（助成金セミナー）の開催

- 目的 ①環境活動団体への資金調達情報と運営支援情報の提供による、環境活動の促進
②環境活動支援に取り組む助成財団、サービスと活動団体とのマッチング
③中間支援組織・活動団体を支援する企業とのネットワーク構築・強化

活動団体の成長ステージに対応できるよう、多数の財団による助成金制度発表、助成金の基本的な選び方や書き方のワークショップ、最新の資金調達情報、運営支援情報を提供するセミナーを開催します。

開催を会場とオンラインで同時配信することで、参加対象を全国の活動団体とし、目標参加数を今までの50人から250人へと引き上げます。当日参加できない団体のために録画視聴参加も行います。

姉妹団体である北海道市民環境ネットワークと地域の未来・志援センターと協働して、企画、運営を行う他、全国の環境の中間支援組織や団体と連携・協力し、情報を必要としている団体に広報を行います。

また、セミナーで各中間支援の活動や相談業務のPRをすることで、団体、財団の個別の課題解決のフォローアップを行います。

【実施日時】 2021年10月4日（日）10:00～16:30

【実施場所】 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）（大阪市）

※当日は、会場にてオンライン配信を行います

※別会場として、札幌会場（北海道自治労会館）

【対象者】 資金調達に関心のある環境NPO、任意団体、NPO支援に関わるスタッフ

【目標】 参加者 オンライン250名、会場60名（大阪会場：20名、札幌会場：25名）

録画視聴参加30名

助成財団 全国：8団体、近畿圏：3団体、中部：3団体、北海道：4団体

【参加費】 一般 1,000円、会員 500円

助成財団参加費 100,000円/団体

【内容】 ①分科会「資金調達の新しい流れ」、「助成申請書の書き方講座」

②助成制度説明会

③グループ質問会

【協力】 各地域の中間支援組織、ならびに助成財団

【主催】 NPO法人エコネット近畿/NPO法人北海道市民環境ネットワーク/
NPO法人地域の未来・志援センター/一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【後援】 大阪府、関西広域連合（予定）

【収入】 2,293,748円（セブン-イレブン記念財団助成金、参加費、他）

【支出】 2,010,371円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 283,377円

3.情報の発信



ネットワークや活動が見える、活用できるホームページを作る

3-1 ホームページ、メールニュース、SNSによる情報発信・公開

- 目的 ①人的資源、ネットワークを見せることで、中間支援としての信頼獲得
②他団体、行政、企業の広報協力を行うことで、環境活動の促進支援
③会員やつながりのある団体とのネットワーク強化

現在のセミナーが前面に出ているホームページから、理事や会員、つながりのある団体の顔や活動が見えるホームページへと刷新します。文章よりも活動写真や人の写真を多用し、エコネット近畿の人的資源やネットワークをビジュアルでも見られる工夫を行います。

現在、発信している情報内容やツール（ホームページ、メール、SNS）の使用を継続しながら、より効果的で多くの方が活用できる発信の内容と方法を検討します。

<発信情報>

- ・イベントやセミナーの案内、報告
- ・環境情報
- ・助成金情報
- ・NPO運営に必要な情報等

<ツール、配信頻度、配信件数> ※2019年12月16日現在

- ・メール メールニュースの配信 月2回 2007件
- ・メール 会員メールの配信 随時 149件
- ・SNS Facebookでの発信 随時 友達663人
- ・SNS Twitterでの発信 随時 フォロワー 627人



3-2 各展示会への出展

- 目的 テーマに応じたネットワーク構築

他団体や行政、企業が主催する環境や市民活動をテーマとしたイベントに、展示や発表をして参加し、活動の広報およびネットワーク構築を行います。

今年度は地域の多様な主体が集まる北区フェスティバル、ESDフォーラム等への出展を検討していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催がない場合は今年度の出展事業は中止します。

エコネット近畿が持っている人材、ネットワークを活かす

4-1 個別相談業務

- 目的 ①環境情報の提供、活動の課題解決による環境活動の促進
②ニーズに合わせた情報提供・広報協力・課題解決による信頼の獲得

環境情報や環境活動に関する質問や相談を、電話・メール・ファクス・来所にて随時受け付けます。

環境分野の相談業務は多岐にわたり、専門性が必要なため、オリジナルの環境相談フォームの作成を行います。ホームページ上でも、一般的な問い合わせとは分けて、個別相談に対応できるように、フォームを活用します。併せて、どういった相談ができるのかがわかるように、支援メニューの検討します。

より専門的な相談やニーズに対応するため、相談業務の一部有料化を試行します。その際、会員特典として、会員価格の設定も検討します。

5.統一テーマ活動 6.委託事業

共に行動することで、信頼を獲得する



5-1 河川流域自然環境再生支援／クリーンアップ活動

目的 自然再生やクリーンアップ活動の取組みを通しての協働の促進

近畿圏の多くの団体が関われる統一テーマとして、継続して河川流域自然環境再生支援及びクリーンアップ活動に取り組みます。

近畿の河川流域で、河川・里地・里山・里海の暮らしの再生に取り組む団体と連携し、市民の暮らしが心豊かで安全に営める自然環境を再生、創出することをめざします。

今年度は関西広域連合の委託事業とのマッチングができたので、5-1と6-1を合わせた事業として「河川等清掃活動に係る交流会」を開催します。

【実施日時】 2020年11月14日（土）13:00～17:00頃（予定）

【実施場所】 オンライン上

【対象者】 河川等清掃活動をしている市民団体

【目標】 参加者30～100名程度

【内容】 ①基調講演
②活動紹介（市民団体）
③パネルディスカッション
④交流会

【主催】 関西広域連合

【収入】 1,428,125円（委託費、エコポイント、他）

【支出】 1,085,366円（消耗品費、広告費、賃借料、旅費交通費、水道光熱費、他）

【収支差額】 342,759円



6-1 行政等の事業の受託

目的 ①資金調達先の拡大
②行政等との信頼関係の構築

今年度は企業が行政から委託された事業の内、環境に関するシンポジウムの部分を受託できるように調整します。

【収入】 1,880,839円（委託費、他）

【支出】 1,534,849円（諸謝金、通信運搬、消耗品費、賃借料、旅費交通費、他）

【収支差額】 345,990円

※受託できた場合の金額

7.新規事業



共に行動することで、信頼を獲得する

7-1 「コーディネーターファーム」(育成)

目的 持続可能な地域を創るためのコーディネーターの育成

「地域課題の現場」と「課題解決をしたい人」をマッチング、サポートすることで、「地域課題解決」と「人材育成」を同時に行う新しい形の地域課題解決事業です。課題のある地域に、課題を複合的に解決できるコーディネーターとそのサポートをするエコネット近畿がかかわることで、地域の環境課題を解決の速度と解決率をあげます。また、人材も一緒に育成することで、課題解決は短期的でなく、長期的なものになり、社会変革へと導きます。

7-1「育成」7-2「マッチング」7-3「サポート」に事業を分けて、3つを連携させることで、目標を達成します。3年かけて体制を構築、実証現場も開拓。3年後には3つの成功事例を有することで、実績に基づき「エコネット近畿といえばプロコーディネーター集団」というブランドを確立します。

今年度は来年度からの講座実施に向け、カリキュラム作成、テキスト作成を行います。試行として、セミナーの開催も検討します。育成は地域の未来・志援センターと協働して、運営します。

【収 入】 1,207,211円 (参加費、他)

【支 出】 1,110,211円 (諸謝金、通信費、賃借料、水道光熱費、他)

【収支差額】 97,000円

7-2 「コーディネーターファーム」(マッチング)

目的 コーディネーターと課題のある地域とのマッチング

課題解決をめざす、地域のニーズ調査を行い、マッチングできそうな地域の洗い出しを行います。ニーズがある地域にわかりやすいコーディネーターファームのパンフレットの作成も行います。

【収 入】 743,454円 (マッチング料、他)

【支 出】 738,454円 (印刷費、デザイン料、賃借料、水道光熱費、他)

【収支差額】 5,000円

7-3 「コーディネーターファーム」(サポート)

目的 コーディネーターのサポート体制の構築

サポートを必要とするコーディネーターへ、アドバイスや必要な資源(人・情報)等の提供により、いちコーディネーターではできない課題解決への支援を行います。今年度はサポート体制の構築をめざし、現役のコーディネーター等へのニーズ聞き取りやプロトタイプの開発を行います。

【収 入】 1,026,811円 (サポート料、他)

【支 出】 1,021,811円 (旅費交通費、賃借料、水道光熱費、他)

【収支差額】 5,000円

1 役員等の数

- ・理事長 1人
- ・副理事長 3人
- ・理事 13人
- ・監事 2人

2 2020年度総会の開催

【実施日時】2020年8月7日（金） 14:00～15:00

【実施場所】エコネット近畿 事務所

【対象者】エコネット近畿 正会員

【内容】審議事項

第1号議案	2019年度 事業報告書	承認の件
第2号議案	2019年度 活動計算書、監査報告	承認の件
第3号議案	3ヵ年計画（2020年度～2022年度）	承認の件
第4号議案	2020年度 事業計画書（案）	承認の件
第5号議案	2020年度 活動予算書（案）	承認の件
その他、連絡・報告事項	（役員退任の件）	

3 理事会の開催

- ・2020年度の理事会の開催については、年4回以上とする。

【実施日時】2020年5月、7月、9月、11月、2021年2月を予定

【実施場所】エコネット近畿 事務所またはオンライン上

4 運営会議・プロジェクトチームの開催

- ・事業運営にかかわる事項について意見交換が必要な際に、事務局が召集・開催する。来年度以降に向けて寄付や助成金獲得、協賛企業開拓も検討する。

5 インターン等の受入れ


- ・大学生や留学希望者、青年海外協力隊員等を、インターシップ等として積極的に受け入れる。

会員目標

会員目標

今年度は会員の大幅な増加をめざすのではなく、現会員を大切にしながら、新型コロナウイルス感染拡大化での会員とのコミュニケーションについて、検討します。

会 員（団体・人）		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 計画
正 会 員	団 体	29	35	36
	個 人	43	40	42
	企 業	1	2	2
賛 助 会 員	団 体	22	26	28
	個 人	23	28	28
	企 業	0	0	0
会員数合計		118	131	136



NPO法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1-14 サンプラザ南森町401

TEL : 06-6881-1133

FAX : 06-6949-8288

E-mail : jimukyoku@econetkinki.org

URL : <http://econetkinki.org>